

第59回中学生作文コンクール

都道府県別賞一等

私にとっての生命保険

大分県 大分中学校 一学年

豊東 莓子

私が小学三年生だった六月、フリーキャスターでタレントだった小林麻央さんが乳ガンで亡くなったとテレビのニュースで見ました。それから何日たった頃でしょうか。母から、

「胸にできものができたから入院してくるね。」

と言われ、幼かった私はそれが乳ガンだとは思わず、すぐに帰ってくるものだと思います。が、父や祖母の話を聞いてしまい、母が乳ガンだと知りました。小林麻央さんのことがあり、乳ガンだから死んでしまうんだと大泣きしたことが昨日のことのように思い出されます。それから、母の壮絶な闘病生活が始まりました。

まずは、右胸の全摘手術、その後八回の抗ガン剤投与、それが終わると二十五回の放射線治療、その間、入院をくり返し全部終わるのに約一年程度かかりました。治療はもちろん無料ではありません。たくさん治療費がかかります。

そんなことが起こる少し前に、母が保育士をしていた時の同僚の人が生命保険の仕事を始めたと言われ保険に入ったそうです。二人に一人はガンになる時代だからと、今まで入っていなかったガン特約というのにも入っていました。おかげで、治療費が全て、生命保険で支払えたそうです。治療費が支払えなければ受ける治療も受けることができません。もし、全ての治療を受けていなければ母はどうなっていたのだろうかと怖くなります。

人は明日何が起こるか分かりません。とても元気だった母が突然病気になるというのを目の当たりにしてそう思いました。しかし、できる限りの治療をすることができれば生きることができます。全ての治療を受けることができたおかげで、母は私が中学一年生になった今でも元気に過ごしています。

私が就職し、給料をもらえるようになったら、まずは生命保険に加入したいと思っています。今は親がやってくれているけど、何年か後にはすぐに自分できなくてかしなければいけない時が来ます。その時のためにしっかり勉強しておきたいです。